

# カキ生育情報

千葉県  
平成30年10月号

## 平成30年9月の気象

平成30年9月の半旬別の気象を表1に記した。平均気温は、第3及び第6半旬を除く4半旬で平年並みか高かった。月平均気温は22.7℃で、平年並みで、前年より0.2℃高かった。

降水量は、第1半旬を除く5半旬で平年並みか上回った。月合計は416mmで、平年の166%、前年の148%であった。

日照時間は、第2半旬を除く5半旬で平年並みか下回った。月合計は115時間で平年の79%、前年の86%であった。

9月30日に台風24号が和歌山県に上陸し、日本列島を縦断した。その影響で、本県にも農作物や園芸施設等に大きな被害が生じた。

表1 平成30年9月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	25.4	24.9	21.0	24	26	28	18	30	9
2	25.9	24.2	23.6	75	45	16	33	28	26
3	21.2	23.5	24.3	30	30	12	10	25	26
4	22.4	22.4	22.9	59	41	80	18	23	23
5	22.3	21.4	21.6	52	50	40	21	21	24
6	19.2	20.4	21.5	176	59	108	14	20	26
平均/計	22.7	22.7	22.5	416	251	282	115	145	134

注) 降水量の本年値は館山測候所の値

## 果実の発育

9月30日現在のカキの果径を表2に示した。横径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均で見るとそれぞれ7.95cm、7.64cm、「富有」が7.73cmであった。本年の横径は、「西村早生」では平年より4%、前年より2%大きかった。「松本早生富有」では平年より6%、前年より7%大きかった。「富有」では平年より9%、前年より3%大きかった。

縦径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均で見るとそれぞれ5.51cm、5.33cm、「富有」が5.56cmであった。本年の縦径は、「西村早生」では平年と同程度で、前年より2%小さかった。「松本早生富有」では平年及び前年より5%大きかった。「富有」では平年より4%、前年より1%大きかった。

果形指数は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均で見るとそれぞれ1.45、1.43、「富有」が1.39であった。本年の果形指数は、いずれの品種も平年より大きく、やや横長の傾向であった。

暖地園芸研究所では、「西村早生」の収穫始期が平年より7日早い9月11日、収穫盛期が平年より8日早い9月20日であった。また、台風24号による潮風害により早期落葉が発生した。

表2 果実の発育（9月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	7.84	7.62	7.62	5.30	5.51	5.58	1.48	1.39	1.36
	暖地園研	8.06	7.73	8.02	5.72	5.49	5.64	1.42	1.41	1.42
	平 均	7.95	7.68	7.82	5.51	5.50	5.61	1.45	1.40	1.39
松本早生 富 有	市 原 市	7.30	7.03	6.38	5.13	4.89	4.53	1.42	1.44	1.41
	暖地園研	7.99	7.35	7.93	5.53	5.29	5.66	1.44	1.39	1.40
	平 均	7.64	7.19	7.16	5.33	5.09	5.10	1.43	1.42	1.41
富 有	暖地園研	7.73	7.09	7.50	5.56	5.36	5.50	1.39	1.33	1.36

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2017年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2017年の平均

なお、「西村早生」は暖地園芸研究所及びいすみ市のいずれも収穫時の果径

## 10月の作業

### 収 穫

中晩生種の収穫時期を迎え、収穫が本格化する。カキ本来の味を消費者に提供するためには、早採りを避け、適期収穫を心がける。収穫前にはカラーチャートを用い、適熟の色を必ず確認する。収穫はなるべく果実が乾いた状態で行い、収穫した果実が濡れている場合は必ず風乾する。収穫、選果、調製作業の際には、果実をていねいに扱うことが大切である。選果は厳格に行い、へたすきの程度が大きい果実や傷のある果実は、軟化しやすいので出荷しない。

### 追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育と着花量を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。「西村早生」などの早生品種では収穫直後の10月中旬頃、「松本早生富有」、「次郎」及び「富有」などの中晩生品種では10月中下旬頃を目安に、速効性肥料で施用する。窒素の成分量で、年間施肥量の15%程度となる10a当たり2～3kgが適当である。

### 病虫害防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、落葉直後に粗皮削りを行い、潜んでいる幼虫を捕殺する。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。害虫の発生が少ない園では、12月以降(休眠期)でよい。これらの防除は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

## 《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>